

整理番号	HT28234	分野	工学 人文	(キーワード)	文字認識
------	---------	----	-------	---------	------

## 立命館大学

### プログラム名 画像処理を用いた古代文字である甲骨文字の認識

先生(代表者)	孟 林(もう りん) 立命館大学理工学部・助教				
自己紹介	高校生時代は受験勉強に1本筋で、英語と歴史が大好きでした。一時、考古学を専攻することも考えていました。しかし、IT 技術が次世代を支える技術の一つと認識し、大学の進学には情報学科を選びました。大学時代には楽しく専門知識を勉強し、ものづくりを目指していました。そして、IT 技術のコアであるプロセッサの研究を選びました。大学四年生のときに、IBM の子会社で液晶パネルの検査措置の開発にも携わりました。自分が設計していたものが動いたことに感動しました。				
開催日時・主な募集対象	平成 28 年 7 月 24 日(日)	(対象)	中学生、高校生	(人数)	20 名
集合場所・時間	立命館大学 BKV プリズムハウス P105	(集合時間)	10:00		
開催会場	プリズムハウス P105 住所: 〒525-0036 滋賀県草津市野路東 1-1-1 アクセスマップ: <a href="http://www.ritsumeai.ac.jp/accessmap/bkc/">http://www.ritsumeai.ac.jp/accessmap/bkc/</a>				
<b>内 容</b>					
<p>本プログラムでは、コンピュータ画像処理を用いて、3000 年以上前の古代文字である甲骨文字の認識を紹介します。近年、画像処理は幅広く使われています。本プログラムは、甲骨文字認識を通じて、画像処理による、画像文字の鮮明化、特徴量の抽出、及び文字認識について勉強します。これを通して、紀元前の歴史を蘇らせることのできる画像処理の素晴らしさを実感します。さらに甲骨文字研究の技術が高速道路システムなどで応用されている例を紹介し、画像処理の無限の可能性を示します。また、研究に参加していた卒業生を招き、研究の体験談と現在の仕事の結びつきを述べます。これにより、研究だけではなく、研究をしていた学生の体験と将来への影響を理解します。さらに、簡単な画像処理のプログラムを用意し、受講生は簡単なプログラム(パラメータ)などの入力により、画像処理を体験します。</p>					
<b>スケジュール</b>				<b>持 ち 物</b>	
10:00-10:15 受付 (BKC キャンパス ウェストウイング1階)				特になし	
10:15-10:30 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)					
10:30-11:00 講義① 甲骨文字とは、(終了後 15 分休憩)					
11:15-12:00 講義② 画像処理とは					
12:00-13:00 お昼休憩、食堂で食事する				<b>特 記 事 項</b>	

13:00-13:45 講義③ 画像処理を用いた甲骨文字認識 (終了後 15 分休憩)	特になし
14:00-14:45 実験実習:画像処理のプログラムをやってみよう (終了後 15 分休憩)	
15:00-15:45 研究に関わった卒業生体験談、アンケート記入	
15:45-16:00 修了式、「未来博士号」授与	
16:00 解散	

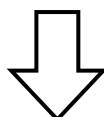
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名 :	立命館大学 研究部 BKCリサーチオフィス 小林 達也
住 所 :	〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1
TEL 番号 :	077-561-2802
FAX 番号 :	077-561-2811
E - m a i l :	Koba84@st.ritsumei.ac.jp
申込締切日 :	平成28年 7月 19日(火)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
孟林	2014.4- 2017.3	若手研究 B	26870713	劣化の激しい甲骨文字の認識の高 精度化処理技術の確率と応用



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。